

議事 1 おびひろこども未来プランの進捗状況について(令和元年度の取り組み)

第六期帯広市総合計画の分野計画で、計画期間は平成22年度から令和元年度の10年間。

基本目標Ⅳ「未来をきり拓く人を育てる」に、次の3つの基本施策を設けている。

基本施策 1

子どもの居場所づくりの推進

現状と課題 子どもが放課後などに安全・安心に過ごすことができる居場所づくり事業を継続的に実施するため、実施団体の活動支援する必要がある。

成果指標 子どもの居場所づくり参加児童数 目標値 31,100人 → 実績値 21,233人

施策評価 コロナ禍の学校休校やボランティアスタッフの担い手不足などによる実施回数の減により、参加児童数が目標値を下回ったが、小学校26校中25校の実施により「施策をある程度進んでいる」

基本施策 2

青少年の社会参加支援

現状と課題 青少年が様々な交流や体験を通して社会の一員である自覚と責任感を養うため、自立や社会参加を促す取り組みや、地域子ども会、スポーツ少年団など、青少年の自主的な活動を充実する必要がある。

成果指標 青少年リーダー養成事業参加数 目標値260人 → 実績値210人

施策評価 趣味や習い事など学校外での過ごし方の多様化により前年度参加者数から減少がみられるが、青少年育成団体と連携し、青少年の自立を促す取り組みを進めていることから「施策はある程度進んでいる」

基本施策 3

青少年非行防止対策の推進

現状と課題 青少年の非行や、近年増加しているインターネットや携帯電話などを通じた有害情報に対して、家庭、地域、関係機関が連携し、問題行動の早期発見や啓発活動に取り組む必要がある。

成果指標 巡回指導における不良行為等の被補導者数 目標値 29人 → 実績値 2人

施策評価 青少年センターが警察署、学校、生徒指導機関と連携して未然防止に努めたことや、指導協力員との街頭巡回、遊興施設等への立入調査、啓発活動の取り組みにより「施策は順調に進んでいる」